

氏名	鳥 越 昇一郎		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 1734 号		
学位授与の日付	昭和62年3月31日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）		
学位論文題目	ヒト胆汁ムチンの精製、性状および肝疾患における血中濃度		
論文審査委員	教授 太田善介	教授 産賀敏彦	教授 木村郁郎

学位論文内容の要旨

ヒト胆汁ムチンを Sepharose 6B ゲルクロマトグラフィー、塩化セシウムによる平衡密度勾配遠心法を用いて精製した。

コレステロール胆石症患者より得たムチンの糖およびアミノ酸の組成は、ビリルビン胆石症患者のものとの差異はなかった。ガラクトサミン、グルコサミン、ガラクトース、フコース、シアル酸のモル比は 1 : 3 : 2 ~ 4 : 3 ~ 5 : 0.5 であり、主要なアミノ酸はセリン、スレオニン、グリシンであった。

精製胆汁ムチンをウサギに免疫し抗ムチン抗体を作製した。この抗体はヒト胆汁ムチンに特異的であった。

抗ムチン抗体を用い ELISA 法にて測定した血中ムチン濃度は健常群に比し急性、慢性の肝疾患で有意に上昇していた。急性肝炎よりも慢性実質性肝疾患で有意に高く、慢性肝疾患の中では慢性肝炎よりも肝硬変と原発性肝癌で有意に高かった。胆石症患者では慢性肝炎とほぼ同等の値を示した。

論文審査の結果の要旨

本研究ではヒト胆汁ムチンを Sepharose 6B ゲルクロマトグラフィー、塩化セシウムによる平衡密度勾配遠心法を用いて精製し、ウサギに免疫してヒト胆汁ムチンに特異的な抗ムチン抗体を作製した。この抗ムチン抗体を用い ELISA 法にて測定した血中ムチン濃度は健常群に比し急性、慢性の肝疾患で有意に上昇しており、急性肝炎よりも慢性実質性肝疾患で有意に高く、慢性肝疾患の中では慢性肝炎よりも肝硬変と原発性肝癌で有意に高いことなどを明らかにした価値ある業績であることを認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。